

経営比較分析表（令和5年度決算）

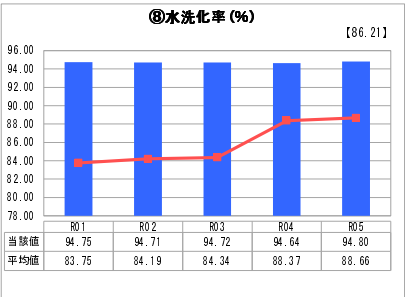
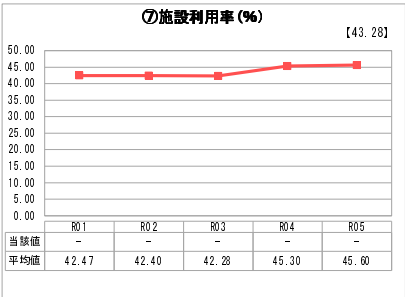
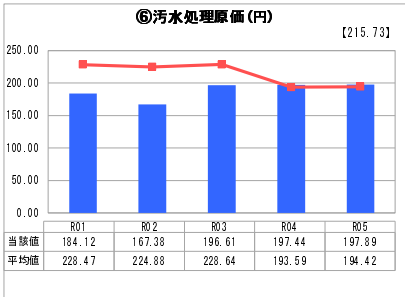
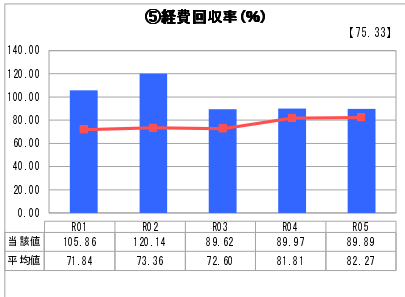
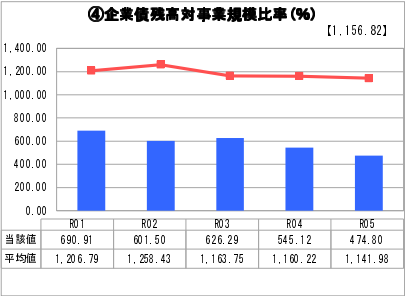
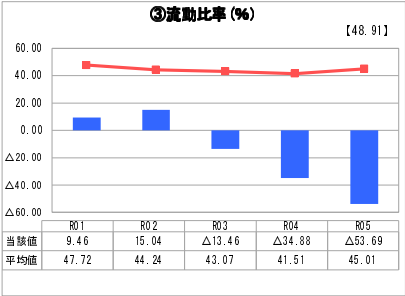
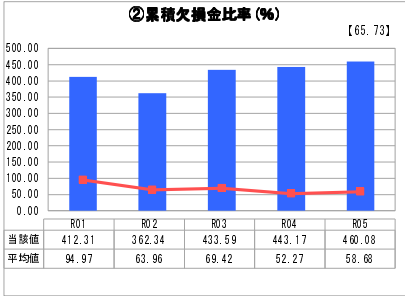
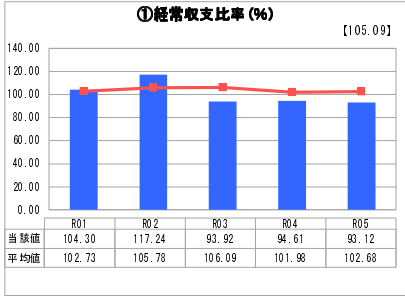
兵庫県 小野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	59.46	51.36	92.32	2,783

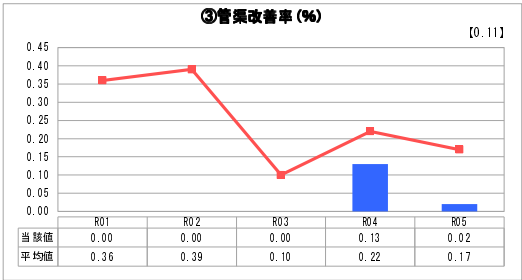
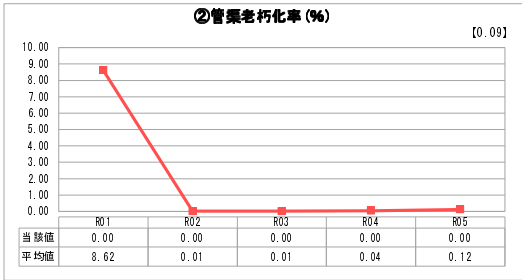
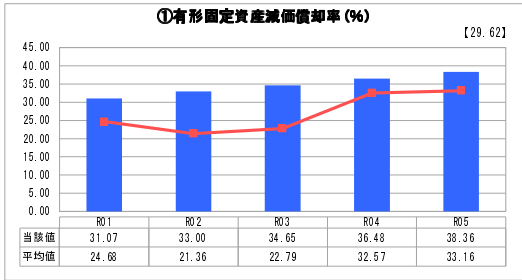
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
47,166	92.94	507.49
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
24,140	11.13	2,168.91

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
人口減少に伴う有収水量の減少等により、100%及び類似団体並びに全国の平均値とともに下回った。今後も経費の削減に努め、経営改善を続けていく。

②累積欠損金比率
使用料改定（H28）を行い経営改善を図ったものの、純損失を計上したため、累積欠損金は積み上がり、類似団体及び全国の平均値を大きく上回った。

③流動比率
ピークは越えたものの、未だ多額の元利償還金を抱えているため現金は増加せず、当該値は大きく悪化しており、類似団体及び全国の平均値を大きく下回った。

④企業債償還高対事業規模比率
企業債償還のピークを越えたことで、当該値は改善した。今後も投資について必要性を検討した上で計画的に実施していく。

⑤経費回収率
R5年度は有収水量の減少により使用料収入が減少したため、数値はやや悪化した。今後も経費の削減に努めつつ、数値の改善に努める。

⑥汚水処理原価
R5年度は汚水処理費が減少したものの、有収水量がそれ以上に減少したことで、当該値が上昇した。全国平均値を下回っているものの、施設の老朽化等により維持管理費の増加が見込まれるため、一層の経費削減に努める必要がある。

⑦施設利用率
区域内すべてにおいて流域下水道に接続しているため、当該数値は0となっている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
類似団体及び全国の平均値と比べると老朽化が進んでいる状態ではあるが、40%を下回っており健全な数値の範囲内と言える。なお、現在、積極投資による施設の更新等を行っていることから、当該数値は低下する予定である。今後も投資は平準化を念頭に計画的に行っていく。

②管渠改善率
R5年度は汚水管布設工事を実施したものの、当該値は類似団体及び全国の平均値とともに下回った。今後もストックマネジメント計画に基づき、費用対効果や投資の平準化等を勘案し計画的に進めていく。

全体総括

使用者の大部分が一般家庭であることや区域内人口密度が低いことから、経営状況は依然厳しい状況である。しかし、企業債償還のピークを終えたことで、改善の兆しも見込まれており、引き続き経費の削減に努め、経営改善を行う。

資産については、有形固定資産減価償却率が上昇傾向にあるため、長寿命化を含めた施設の投資について、ストックマネジメント計画に基づき、費用対効果や投資の平準化等を勘案し計画的に進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。